

問 若者定住対策の充実を



佐伯卓師議員

答 新たな対策でサポート

Q 結婚支援・子育て支援など、若者定住対策は本町にとって重要課題である。
今の若者の結婚に対する意識や考えは、以前とはかなりの違いがあるがどう取り組むのか。

A 町長
重点項目として、定住対策・少子化対策・子育て支援も考えており、出会いから子育てまでの支援をする。
結婚対策は青年会・農業委員会と連携し、各種

交流イベントの開催、婚活ブーム利用のためホームページの立ち上げ、プライダル業界と連携し、相談から結婚までをサポートする「プライダルセンター」の創設も検討する。

Q 若い世代には保育料がおおきな負担になっている。第2子目からの保育料の免除も考えるべきでは。

A 町長
第3子以降の保育料半額免除と、保育時間の

延長など実施する。

Q 「源流の里」維持・再生対策について、集落支援員も努力されているが、対象集落の動きも弱く苦労されている。現状の把握と、今後の取り組みは。

A 町長
大変厳しい事業であり、支援員の苦労も聞いている。新年度は調査をもとに再生計画を立て、実施出来ることから再生事業に取り組みたい。



油木保育所退所式

クイズの回答とともに寄せられた

“まちの声”

○地域の宝である「子ども」を大切にしつつ「町」であってほしいです。
子ども医療など、他にないよい制度、ぜひ継続を望みます。
(60歳・男性)

○子ども・お年寄り、そして、私たちの世代にもいろいろな点でメリッ트가ほしい。
(56歳・女性)

○要所に写真、また色彩を取り入れた印刷など分かり易く、充実した議会

○地域の宝である「子ども」を大切にしつつ「町」であってほしいです。
子ども医療など、他にないよい制度、ぜひ継続を望みます。
(60歳・男性)

○人によって、それぞれ読みにくい字があります。私も読んでまずけど、よく意味がわからない事があります。よろしくおねがいします。
(60歳・女性)

○この前も、もう一度お出かけタクシーを見直して欲しいと有りました。私もその一人です。バスは何度もないし、時間的

に1カ月に2度病院へ行きますが、バスに間に合わないのでタクシーなので高くなります。
門の前は県道なので、ふれあい号は通ってくれません。
(86歳・女性)

○住めば都で良いと思って暮らしております。みんな年を取るので近くの畑までカヤから木へと山になっていくこと悲しく感じます。
イノシシは近くの軒さきまでも来る様になりました。

つある今日です。本当に困ったと思ひ暮らしております。どうか、イノシ

シの害のなくなる様に祈ります。(73歳・女性)

○月に何回か道路の巡回をされていると思うのですが、舗装が穴になってる箇所があるのです。

出来れば、早めに補修して頂ければと思います。(78歳・女性)

もっと分かりやすくするためにどうするかを調査研究

広報広聴調査特別委員会研修に行ってきました。

研修目的

議会活動をより分かり易く住民に伝えるとともに、身近な町議会と感じてもらえるような「みんなの町議会」を発行するためにはどうするかを調査研究。

研修年月日

平成21年3月29日(月)

研修先

高知県高岡郡越知町議会… 広報調査特別委員会

研修結果

○広報誌の改善について ※読ませるページ構成は



広報委員会研修

1. インパクトのある表紙(まず手に取らせる)。
 - ①写真の表現を大事にする…表情・ズームアップ・動き。
 - ②見だしの活用…フォント、色、大きさに変化をつける。
2. 視覚に訴える(目の動きを考える)。
 - ①写真の位置を単調にしない。
 - ②必ず人物を載せる(誰か分かるようにする)。
 - ③明解で大胆な見出し。
 - ④小見出しを付ける。

(記事の内容が見ただけで分かるように)。

3. 結果でなく、過程を載せる(結果は町広報で分かっている)。
 - ①審議の過程をコンパクトに記事にするなど、全国表彰常連の議会広報のノウハウを吸収しました。今後の議会広報制作・編集に生かします。

広島県町村議会議長会 議会広報コンクールで 最優秀賞を受賞

「みんなの町議会」第18号(平成21年4月発行)が、広島県町村議会議長会広報コンクールで最優秀賞を受賞しました。今後も、分かりやすい紙面に心がけ、身近な町議会と感じてもらえるような議会広報紙をめざしてまいります。また議会へのご意見、ご要望などお寄せいただければ幸いです。

